

日本熱帯農業学会第132回講演会

期 日 2022年10月15日(土), 16日(日)
場 所 鹿児島大学農学部郡元キャンパス 農・獣医共通棟
事務局 〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-24
運営委員長 遠城道雄
運営委員 一谷勝之, 香西直子, 坂上潤一, 志水勝好, 朴 炳宰, 山本宗立, 山本雅史, 渡部由香 (五十音順)

参加費

参加費: 一般: 6,000円, 学生: 3,000円(要旨集代含む)

発表者について 発表者は会員に限ります。入会されていない方は発表当日までに受け付けでご入会下さい。

第1日	第1会場	第2会場
10月15日(土)	農・獣医共通棟201講義室	農・獣医共通棟203講義室
9:00~12:00	研究発表(講演番号1~12)	研究発表(講演番号13~24)
12:00~13:00	昼食	
13:00~17:00	公開シンポジウム(101講義室)	
17:00~17:30	学生優秀発表賞授賞式	

第2日	第1会場	第2会場
10月16日(日)	農・獣医共通棟201講義室	農・獣医共通棟203講義室
9:30~11:30	研究発表(講演番号25~32)	研究発表(講演番号33~40)

*10月14日の若手の会の会場は農・獣医共通棟104講義室です。

*10月15日, 16日に農・獣医共通棟104講義室を参加者の休憩室といたします。

日本熱帯農業学会第132回講演会プログラム

第1日 10月15日(土) 研究発表(発表12分, 質疑応答2分30秒) **太字**は学生優秀発表賞審査対象

開始時刻	座長	第1会場 (農・獣医共通棟 201 講義室)	座長	第2会場 (農・獣医共通棟 203 講義室)
9:00	江原 宏 (名古屋大)	<p>1. 水田中耕除草機の日本とバングラデシュにおける現在の展開. オンライン *安藤和雄 1・内田晴夫 2 (1京都大学東南アジア地域研究所/名古屋大学大学院生命農学研究所, 2京都大学東南アジア地域研究所)</p>	松田大志 (国際農研)	<p>13. 奄美大島のパッションフルーツ園の施肥管理, 土壌化学性, 葉内ミネラル含量および果実品質の調査 *有澤善也 1・山本宗立 2・近藤友大 1・樋口浩和 1 (1京都大学大学院, 2 鹿児島大学国際島嶼教育研究センター)</p>
9:15		<p>2. A conservation agricultural practice for sustainable cropping intensity in rice - legume based farming system: A case study in Maubin Township, Ayeyarwady Region, Myanmar オンライン *Khin Lay Swe 1 and Kazuo Ando 2 and Myint Thida 3(1 Senior Advisor, Forest Resources Environment Development and Conservation Association (FREDA), 2 CSEAS, Kyoto University / Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University, 3 Pro-Rector, Mawlamyaing University)</p>		<p>14. 整枝方法の違いが3年生パッションフルーツの果実品質および収量に及ぼす影響 *高橋沈希 1・島田温史 2・浅田真一 2 (1 玉川大学大学院農学研究所, 2 玉川大学農学部)</p>
9:30		<p>3. The response and mechanism of NERICA 4 rice cultivar to salinity オンライン *Rael CHEPKOECH 1, Isao AKAGI 2 and Jun-Ichi SAKAGAMI 3 (1 The Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries, Kagoshima University, 2,3 Faculty of Agriculture, Kagoshima university)</p>		<p>15. パッションフルーツにおける成熟前落果発生機構に関する研究IV-果実へのオーキシシンおよびエチレン生成阻害剤散布が落果に及ぼす影響 *西澤 南 1・篠原 卓 1・田中啓介 2・宮浦理恵 1 (1東京農業大学大学院 国際食料農業科学研究科, 2東京農業大学 ゲノムリサーチセンター)</p>
9:45		<p>4. Storability and survival of primed rice seed of interspecific progeny NERICA 4 in tropical and sub-tropical conditions オンライン *Emmanuel Kiprono BORE 1, Eri ISHIKAWA1, Julie Ann Mher Alcances LIBRONI, Keita GOTO2 Emmanuel ODAMA2 Yoshihiro NAKAO3, Shin YABUTA4, Jun-Ichi SAKAGAMI 4 (1 Graduate School of Agriculture, Kagoshima University, 2 The United Graduate School of Agricultural Sciences, 3 National Agriculture and Food Research Organization, 4 Faculty of Agriculture, Kagoshima University)</p>		<p>16. Improvement of seed emergence of Passiflora edulis William VIERA 1,2, Takashi SHINOHARA 1, Atsushi SANADA 1, Naoki TERADA 1 and Kaihei KOSHIO 1(1 Faculty of International Agriculture and Food Studies, Tokyo University of Agriculture, 2 Fruit Program, National Institute of Agricultural Research (INIAP))</p>

10:00	<p>5. Effect of seed coating with compound fertilizers on the early growth establishment in upland rice オンライン</p> <p>*Rodolphe Noubiap Watchou 1, 2, Akira Miyazaki 1, Kamal Shrestha 1, Mitsukazu Sakata 1(1 Fac. Agr. Mar. Sci. Kochi Univ., 2 JICA Cameroon)</p>	<p>17. 硫化水素施与がバッションフルーツ, アボカド, カカオの低温ストレス下での生理反応におよぼす影響.</p> <p>*近藤友大 1・川合 径 2・松坂裕治 3 (1 京都大院農学 研究科, 2(株) ローカルランドスケープ, 3(株) フォーカ スシステムズ)</p>
10:15	<p>6. Effect of deep rooting on water absorption, shoot and root development of upland rice seedlings grown under different soil moisture condition. オンライン</p> <p>*Kamal Shrestha1,2, Akira Miyazaki 2, Rodolphe Noubiap Watchou 2 and Mitsukazu Sakata 2 (1 The United Graduate School of Agricultural Sciences, Ehime University, 2F aculty of Agriculture, Forestry and Marine Science, Kochi University)</p>	<p>18. アボカドの挿し木において種々の処理が発根に及ぼす影響.</p> <p>宇都量子 1・香西直子 2・山本雅史 2 (1 鹿児島大学大学院農林水産学研究科, 2 鹿児島大学農 学部)</p>
10:30	<p>7. Replacement of water yam (<i>Dioscorea alata</i> L.) indigenous root endophytes and rhizosphere bacterial communities by the inoculation of a synthetic community of dominant plant-growth-promoting bacteria.</p> <p>*Sumetee Liswadiratanakul 1, Kosuke Yamamoto 2, Vatane Wattanadatsareel, Yuh Shiwa 2,3, Shunta Kihara1, Hironobu Shiwachi 1 (1 Department of International Agricultural Development, Faculty of International Agriculture and Food Studies, Tokyo University of Agriculture, 2 Department of Molecular Microbiology, Faculty of Life Sciences, Tokyo University of Agriculture, 3 NODAI Genome Research Center, Tokyo University of Agriculture)</p>	<p>19. Seed priming improves yield attributes of tomato under salt stress conditions.</p> <p>Habibi Nasratullah 1,2, Naoki Terada 1, Atsushi Sanada 1, Kaihei Koshio 1 (1 Graduate School of Agriculture, Tokyo University of Agriculture, 2 Faculty of Agriculture, Balkh University)</p>
10:45	<p>8. マスカット・ライチ香を有する芋焼酎を醸造可能なサツマイモ「霧 N8-1」の栽培特性</p> <p>*伊川秀治 1,2・前田玲以弥1 ・大西真人 1・中村 優1 ・藤田剛嗣 1・河野邦晃 1・奥野博紀 1・志水勝好 2, 3 (1 霧島酒造株式会社, 2 鹿児島大学連合農学 研究科・3 鹿児島大学農学部)</p>	<p>20. Effect of mechanical stress on postharvest physiology of tomato fruit (<i>Solanum lycopersicum</i> L.)</p> <p>*Chy Sophea, Naoki Terada, Atsushi Sanada, Kaihei Koshio (Graduate School of International Agricultural Development, Tokyo University of Agriculture)</p>
11:00	<p>9. ミャンマー北西部在来トウガラシ(<i>Capsicum chinense</i>)の遺伝的系統関係の解明.</p> <p>*海野研太郎 1・近藤文哉 2,3・根本和洋 4・松島憲一 4 (1 信州大院総合理工・</p>	<p>21. 国産低利用資源を利用した新規農園芸資材の開発.</p> <p>*野本泰洋 1・寺田順紀 1・真田篤史 1・小塩海平 1・後藤逸男2 (1 東京農業大学大学院 国際農業開発学専 攻, 2 東京農業大学 名誉教授)</p>

團 晴行 (国際農研)

立石 亮 (百大)

志水勝好 (鹿児島)

遠城道雄 (鹿児島)

	2信州大院総合医理工・3 日本学術振興会特別 研究員・4 信州大学術研究院(農)		
11:15	10. 東南アジア3ヶ国で収集したトウガラシ 遺伝資源 (<i>Capsicum</i> spp.) の特性評価 *梅田小雪1・近藤文哉 2,3・根本和洋4・松島 憲一4 (1 信州大院総合理工, 2 信州大院総合医 理工, 3 日本学術振興会特別研究員, 4 信州大学 術 研究院(農))		22. アブラナ属野菜の新たな種子活力試験開発に関する 研究-老化程度の測定による長期貯蔵に耐えるカリフラ ワー種子の選抜. *増田悠花・篠原 卓・宮浦理恵 (東京農業大学国際食 料情報学部)
11:30	11. キダチトウガラシの葉緑体ゲノムの特徴付 けと日本・東南アジア・ミクロネシアにおける その種内変異. *山本宗立 1・田中義行 2・小枝壮太 3・松島 憲一 4(1 鹿児島大学国際島嶼教育研究センタ ー, 2 京都大学大学院農学研究科・3 近畿大学 大学院農学研究科・4 信州大学術研究院(農 学系))		23. 石垣島における早生樹植林木の初期成育に及ぼす 異なる施肥条件による影響. オンライン *竹中浩一 1・識名安輝 2・前津雅英 2・波照間雄人 2・数井 宏 2 (1 国際農研農村開発領域, 2 国際農研熱 帯・島嶼研究拠点)
11:45	12. ペクチン分解酵素遺伝子の変異とトウガ ラシ果実の軟化およびヘタの離脱性. 佐々木峻我1・岸 彩子1・上吉原裕亮1,2・岩永 崇2・土屋正邦2・奈島賢児1,2・水野真二 1,2・渡辺慶一1,2・*立石 亮1,2 (1 日本大学大学院生物資源科学研究科, 2 日 本大学生物資源科学部)		24. プルキナファン中央台地において水土保全施設が創 出する草列の生育環境. *團 晴行 1・南雲不二男 1・ダビンガ ジョナス 2・パ ロ アルベール 2 (1 国際農林水産業研究センター, 2 プルキナファン環 境農業研究所)
12:00~ 13:00	昼休み		
13:00~ 17:00	<p>公開シンポジウム (101 講義室)</p> <p>講演テーマ: グローバル社会において熱帯果樹が担う役割とは何か?</p> <p>司会: 山本雅史 (鹿児島大学農学部 教授)</p> <ol style="list-style-type: none"> 国内の亜熱帯地域における気候特性 紺野祥平 (農研機構 果樹茶業研究部門 生産・流通研究領域 主任研究員) 持続可能な開発の実現にむけた熱帯果樹の役割 福田聖子 (日本大学生物資源科学部 専任講師) 熱帯・亜熱帯果樹は酸性土壌での栽培に適しているか? 近藤友大 (京都大学大学院農学研究科 准教授) 我が国における熱帯果樹栽培 内野浩二 (鹿児島県大隅地域振興局) 南西諸島で見出されたパッションフルーツ奇形果の原因ウイルス 岩井 久 (鹿児島大学 理事) <p>コーディネーター: 香西直子</p>		

第2日 10月16日(日) 研究発表(発表12分, 質疑応答2分30秒)

開始時刻	座長	第1会場 (農・獣医共通棟201講義室)	座長	第2会場 (農・獣医共通棟203講義室)
9:30	朴炳宰 (鹿児島大)	25. 畝幅拡大に伴う春植えサトウキビの生育, 収量への影響評価. *秋 廣駿1・黒木栄一 2・井上健一 1・餅田利之 1・末川 修 1 (1 鹿児島県農総セ徳之島, 2 鹿児島県農総セ)	島田温史 (玉川大)	33. 多胚性カンキツの胚数およびその雑種実生出現 *山本雅史・伊東孝峻(鹿児島大学農学部)
9:45		26. 奄美地域におけるサトウキビ株出し栽培3回目までの収量評価. *井上健一・秋廣 駿・餅田利之 (鹿児島県農業開発総合センター徳之島支場)		34. 石垣島の露地栽培で秋冬季に収穫したゴレンシ8品種の果実における熟度と品質の関係. オンライン *大徳清隆 1, 2, 3・松田大志 2・小塩海平 1 (1 東京農大, 2 国際農研熱帯島嶼研究拠点, 3 現 株式会社ウフル)
10:00		27. サトウキビにおける葉身ガス交換ベースの水利用効率向上のための戦略. 寶川拓生 (国際農林水産業研究センター熱帯島嶼研究拠点)		35. アボカド‘バーコン’における冬季の気温と葉温との関係. オンライン 木崎賢哉 1,3・*吉松孝宏 1・内野浩二 1,4・杉浦俊彦 2 (1 鹿児島県農業開発総合センター果樹・花き部, 2 農業・食品産業技術総合研究機構果樹 茶業研究部門, 3 現:鹿児島県熊毛支庁農林水産部, 4 現:鹿児島県大隅地域振興局農林水産部)
10:15		28. 徳之島における年代別に見た気象要因とサトウキビ単収との関係 *渡邊健太 1・上野正実 2・川満芳信 1 (1 琉球大学農学部, 2 NPO 亜熱帯バイオマス利用研究センター)		36. 開花期の気温がアボカド‘バーコン’の開花時間および花粉発芽に及ぼす影響. *香西直子・叶 和幸・山本雅史 (鹿児島大学農学部)
10:30		29. Sago palm production and utilization in East Sepik, Papua New Guinea. *Hiroshi Ehara 1, Yukio Toyoda 2, Keith Galgal 3, Bir C. Mandal 3, Hitoshi Naito 4, and Takashi Mishima 5 (1 Nagoya University, 2 Rikkyo University, 3 FAO Papua New Guinea Office, 4 Kurashiki University of Science and The Arts, 5 Mie University)		37. 閉鎖系迅速光合成測定装置を用いた熱帯・亜熱帯果樹の個葉光合成測定. *松田大志・寶川拓生 (国際農林水産業研究センター熱帯島嶼研究拠点)
10:45	倉内伸幸 (日本大)	30. 徳之島におけるコーヒーの育苗年数と定植後の遮光率の研究. *瀧山祐樹 1・勝田雅人 2・中島 純 1 (1 鹿児島県農業開発総合センター徳之島支場, 2 鹿児島県農業開発総合センター大隅支場)	一谷勝之 (鹿児島大)	38. 沖縄の二期作におけるインド型水稻品種‘カーチバイ’の栽培特性. オンライン *田中洋貴 1・伊禮風沙 2・宮城敏政 1 (1 沖縄県農業研究センター名護支所, 2 現:沖縄県園芸振興課)
11:00		31. Banana Farmers’ Cultivation Management Practices in Cagayan Valley Region, Philippines *Koji Ishikawa 1, Parsons Hail 2, Melanie Tolentino 2, Gella Patria Abella 2, Carolyn Marzan 2, Matilde Melicent Santos Recto 2, Rhodora Dela Rosa 2, Emil Ubaldo 2, Jay Santos 2, Seiko Fukuda 3, Renato G. Reyes 2, and Kyoko Watanabe 1(1 Tamagawa Uni., 2 Central Luzon State Uni., 3 Nihon Uni.,)		39. 稲作農家の家計に対する稲作と賃労働の役割:ケニア西部ビクトリア湖岸 Awach 灌漑地区の事例 *山根裕子・伊藤香純 (名古屋大学 農学国際教育研究センター)

11 : 15	<p>32. 鹿児島でのカカオ栽培に関する研究 1. 開花と受粉. 梶山 萌・勘米良洋多・*志水勝好(鹿児島大学農学部)</p>	<p>40. 沖縄本島におけるトゲドコロ芋 (<i>Dioscorea esculenta</i>) の認知・購買・販路拡大に関するアンケート調査結果 -沖縄と本州との回答比較- *川田 薫 1・菊野日出彦 2 (1 立命館大学生存学研究 所客員研究員、株式会社サーベイリサーチセンター, 2 東京農業大学)</p>
---------	--	--